

麻しん（はしか）患者の発生について

10月10日（水）、名古屋市中川区の医療機関から名古屋市保健所に「9月27日に名古屋市が公表した麻しん患者の家族に、発疹等の症状がある。」旨の情報提供があり、名古屋市衛生研究所が遺伝子検査を実施したところ、10月11日（木）に麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

名古屋市保健所等は、健康観察等を実施するとともに、市民のみなさまへの周知・啓発に努めていきます。

今後、本市における麻しん（はしか）の発生状況等は、新しい患者等が確認された都度、患者の行動等に応じて本市公式ウェブサイト又は市政記者クラブへの資料提供により情報を提供していく予定ですので、よろしくお願い致します。

1 患者について

（1）概要

20歳代 女性 中川区在住 会社員 ワクチン接種歴 2回

（2）行動等

10月5日（金）

～9日（火） フランスへ職場旅行。旅行中、発熱なし。9日の帰国便は以下のとおり

時 間 帯	経 路 ・ 便 名 な ど
9日 21時～15時	シャルル・ド・ゴール国際空港（パリ）から仁川国際空港（韓国） 【 大韓航空 KE 910 便 】
9日 19時05分～ 20時55分 20時55分～	仁川国際空港（韓国）から中部国際空港セントレア（名古屋） 【 大韓航空 KE 751 便 】 空港から自宅へは自家用車で帰宅

10月10日（水） 発疹出現。発熱なし。

医療機関A（中川区）受診（移動は自家用車（隔離されて受診））

10月11日（木） 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定

2 麻しん（はしか）について

- 今後、さらに麻しん（はしか）が広がる可能性があるため、麻しん（はしか）を疑う高熱と発疹の症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しん（はしか）を疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないよう公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- 1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。また、妊娠している方は麻しん（はしか）ワクチンの予防接種ができませんので、ご注意ください。